

平成27年度 事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなで作る住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域住民の真のニーズ(課題)を掘り起こし、第2次白石地区地域づくり5カ年計画(平成28年度～平成31年度)を策定する。		
	事業名	第2次地域づくり計画策定事業	決算額	1,056,497円
②	視点	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛意を育み、地域の連帯感や絆を深める。		
	事業名	明治維新150年記念事業	決算額	336,221円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域住民同士の繋がりを深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	166,799円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

	検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①	各会員団体等から地域づくり計画策定委員の推薦を得て、地域づくり計画策定委員会を設置するとともに、専門部会(住民座談会部会、住民アンケート部会、現行事業検証・見直し部会)を設け、毎月定例会を開催した。委員会では、住民アンケート調査(5月)、住民座談会(4月・7月)を実施し、地域の課題の洗い出しを行った。その中で重要課題を絞り込み、課題解決の手段としての事業の見直しを行い、第2次地域づくり計画を策定した。今後については、「みんなで作る住みよいまち・白石」の実現を目指し、白石地区地域づくり計画書(平成28年度～平成32年度)の冊子編集を行い、実施主体団体等に周知を図る。	○
②	講演会・維新探訪バスツアー・広報誌へのコラム掲載により幕末・明治維新策源地山口市において活躍した人物、事象等を詳細に周知することができた。また、明治維新に関心のある人の掘り起こしができ、参加住民同士の連帯感や絆を醸成する一助となった。今後については、新たに白石地区における奇兵隊士の墓塚など知られざる史跡等の探索を行い、「明治維新白石地区史跡マップ(仮称)」の作成に繋げる。	○

【祇園祭】今年度は御環幸が平日であったためお神輿の担ぎ手不足が懸念されたが、早期に参加者募集を実施したことから、前年度並みの参加者が確保できた。また、サラン卷教室や直会を行い、参加者同士の連帯感や絆を深めることができた。

祇園祭の御神幸・御環幸ともに平日となるため、早い時期から町内会連合会の役員が単位町内会総会等に出向き、お神輿の担ぎ手だけでなく、裸坊練り歩き随行者としての参加を呼び掛ける。

【山口七夕ちょうちんまつり】今年度初めて、一の坂川西京橋から千歳橋までの両岸において、ミニちょうちんツリー設置(飾り付け・点灯)およびほたる広場において白石カフェを開設した。

③ ミニちょうちんツリー設置においては、子ども会育成会をはじめ多数の協力を得ることができ、白石カフェ開設においては、白石地区町内会連合会との協力により、白石で自慢できるものNo.1(住民アンケート調査結果)の一つである「ちょうちんまつり」において地域住民のコミュニケーションの場を設けることができた。多数の参加者により、地区住民同士の連帯感や絆を深める機会となり、伝統ある祭りを盛り上げていくことに貢献できた。また、参加した子どもにも良い経験となり、子ども達の祭りを思う心を育てることに繋がった。

ミニちょうちんツリー設置については、今回初めて行った経験を踏まえ、人的態勢を整える。

来年度は、新たに「山口ほたるまつり」に参画し、赤れんが芝生広場においてお茶席や休憩所を設営するなど地域住民が集い語れる場を増やすことに注力して行く。

4 総括

交付金の活用によって、地域課題の解決に向けた住民の意識が高まるなど地域づくりの協働態勢が整った。

今後については、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,265,114円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:1名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 新会計管理システムを導入して会計業務の精度が向上し、業務改善が図れた。 (今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。

(2) 地域振興

事業名	組織づくり事業
事業費	207,097円
事業概要	(実施内容) 地域課題の解決に向けて、人的協働体制を確立した。 (実施時期) 通年 (参加人数) 延157人 (成果) 各部会の開催を定例化し、議事録等を全部会員に配布するなど、協議内容、結果の周知に努め、情報の共有化を図った。新たに設置された地域づくり計画策定委員会においては、地域づくり計画(平成28年度～平成32年度)を策定に向けて環境を整備した。 (評価) 各会員団体間において、目標等が共有でき、地域課題の解決を図る協働態勢が整った。 (今後に向けて) 地域課題解決のための方向性を地域住民が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。

事業名	広報事業
事業費	1,342,980円
事業概要	<p>(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 10人</p> <p>(成果) 広報誌配布12回、ウェブサイト更新。</p> <p>(評価) 広報誌を毎月発行し、HPを適宜更新するなど、各事業の開催案内・結果報告等、周知が図れた。</p> <p>広報誌において、住民アンケートの集計結果、第2次地域づくり計画(平成28年度～平成32年度)の概要を掲載し、周知を図った。</p> <p>(今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページの適宜更新を行うとともに、SNSの活用・広報委員会創設について検討する。</p>

事業名	第2次地域づくり計画策定事業(プロジェクト事業)
事業費	1,056,497円
事業概要	<p>(実施内容) 住民アンケート実施(5月)、住民座談会開催2回(4月・7月)、第2次地域づくり計画書作成・冊子作成準備、第2次地域づくり計画住民説明会開催(H28.3月)、地域づくり計画策定講座・グループリーダー研修会参加、全体会議等活動回数51回</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 33人</p> <p>(成果) 住民アンケート(5月)、住民座談会(4月・7月)の実施により、地域の課題を掘り起こし、その中から重要課題を7つに絞り込み、解決に向けた第2次地域づくり計画を策定することができた。</p> <p>(評価) 地域づくり計画策定委員会において、全体会議を毎月開催するとともに、3分科会(住民座談会部会、現行事業検証・見直し部会)を柱に、地域づくり計画答申案作成委員会、住民説明会実行委員会、第2次地域づくり計画書編集・冊子作成委員会を設置し、住民アンケートおよび住民座談会の結果分析、現行事業の検証・見直しを行い、第2次地域づくり計画を策定した。現在、成果物としての第2次地域づくり計画の冊子を作成するため、冊子作成委員会において構成等を検討中である。</p> <p>(今後に向けて) 現在、地域づくり計画策定委員会において作成準備中である「白石地区地域づくり計画(平成28年度～平成32年度)」の冊子を完成させ、地域づくり計画策定委員会を解散する。</p> <p>昨年度発足時より70回以上におよぶ活動により策定された「地域づくり計画(平成28年度～平成32年度)」が、冊子の活用により円滑に執行されていくよう実施団体等に周知を図る。</p>

事業名	「SLやまぐち号」応援イベント事業
事業費	118,213円
事業概要	<p>(実施内容) SLの乗客や山口駅の利用者を対象に、地域住民が協力して心を込めた「おもてなし」イベントを実施。</p> <p>(実施時期) 平成27年6月、8月、11月、12月、3月</p> <p>(参加人数) 約100人(1開催当り)</p> <p>(成果) 多数の地域住民の協力で盛大なイベントとなり、SLの乗客との手振りによるコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>(評価) 地域住民同士のコミュニケーションの場となった。SL到着までの時間を利用して、駅待合室において、地域で活動している舞踊団体等が舞踊等を披露するなど、地域で活動する団体等の成果を発表する場となると同時に、山口市の玄関口であるJR山口駅を盛り上げることができた。</p> <p>(今後に向けて) SLイベントに留まらず、駅舎内の環境美化活動や観光ボランティア活動、駅舎内においてのコンサート開催等、山口駅を応援する活動に広げて行きたい。</p>

事業名	白石地区町内親睦大運動会運営事業(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校グラウンドにおいて開催された親睦大運動会の運営支援。</p> <p>(実施時期) 平成27年5月17日</p> <p>(参加人数) 1,200人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくを推進することができた。</p> <p>(評価) 新競技を実施したり既存競技をアレンジするなどして、盛り上げることができた。</p> <p>(今後に向けて) 競技種目、町内対抗に参加できない地区住民のために、競技内容や白石カフェの開設を検討するなど、より多くの地域住民が参加していただけるような大会運営を支援する。</p>

事業名	白石フェスティバル運営事業(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	<p>(実施内容) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加による親睦イベントを支援。</p> <p>(実施時期) 平成27年11月15日</p> <p>(参加人数) 約2,500人</p> <p>(成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦、白石地域交流センターで活動されている団体の紹介、及び地域団体間の連携強化が図られた。また、多くの地区住民が運営スタッフとして参加し、住民主体のイベント運営、地域活動参加のきっかけづくりとなった。小・中・大学生もスタッフとして参加され、子どもや学生が地域社会とふれあう機会となった。</p> <p>(評価) 祭りを盛り上げるための創意工夫を実行委員会を中心に話し合った結果、今年度は、新市合併10周年にちなんで、市内各地域の特産品や伝統芸能など一同に集め、祭りがもり上った。荒高・西門前自主防災ブースを設置したことで、祭りが自治会の地道な活動を広めたり、防災意識を高める良い機会となった。yabが工事中で敷地が使用できなかったが、その代替地として、西門前商店街に昨年よりも多くのブースを設置した。このことで、西門前商店街の人通りが増え、昨年よりも、商店街えびす祭り(11/20)と白石フェスティバルの一体感が生まれた。また、相乗効果も増し、祭りの来場者が増えた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も開催日時を西門前商店街のえびす祭りに合わせて開催(11/20)し、お互いの祭りの相乗効果が出るよう工夫して行きたい。</p>

事業名	町内会親睦活動支援事業
事業費	150,000円
事業概要	<p>(実施内容) ①荒高もりさま祭り②福部童子祭③西惣小さな夏まつり④今道大附6町内フェスティバル開催。⑤ヴェルデ白石納涼夏祭り</p> <p>(実施時期) 平成27年7月、8月、9月</p> <p>(参加人数) 約1,035人</p> <p>(成果) 世代を超えた地域住民同士のコミュニケーションがとれた。</p> <p>(評価) 悪天候により開催内容の縮小をせざるをえなかった等の理由から、参加者が昨年度に比べ減少した町内会もあったが、5町内会のうち3町内会に於いては、参加者が増加し、全体としては昨年度に比べ35人参加者が増加した。地域住民の交流を図ることができ、運営に関わった役員、各組織間の連携も図れた。</p> <p>(今後に向けて) 参加呼び掛け等、事前の広報活動に努め、参加者の増加を図る。</p>

事業名	西京老人大学開催事業
事業費	52,866円
事業概要	<p>(実施内容) 高齢者の詐欺被害防止および、交通安全についての講座を開催した。</p> <p>(実施時期) 平成27年6月</p> <p>(参加人数) 55人</p> <p>(成果) 現在問題になっている「おれおれ詐欺」等の高齢者を狙った詐欺被害の実情と対策、改正となった交通安全のルール等について山口警察署係官から説明を受けることにより、高齢者に役立つ知識を提供できた。また、食推の協力により減塩料理を会食し、適切な塩分量の食事を体験できた。</p> <p>(今後に向けて) 高齢者や家族の安定した生活に役立てるよう、終了後に実施したアンケートで要望のあった内容を考慮し、来年度の実施内容を検討する。関係団体と共同開催したい。</p>

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	166,799円
事業概要	<p>(実施内容) 祇園まつりの御神輿の担ぎ手の募集を行い、参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後は直会を開催した。山口七夕ちょうちんまつりにおいて、今回初めて一の坂川(西京橋～千歳橋)両岸にミニちょうちんツリーを設置し、「ほたる広場」には、地区住民のコミュニケーションの場として『白石カフェ』を白石地区町内会連合会を中心に地域団体等が協力して開設、運営した。</p> <p>(実施時期) 平成27年7月、8月</p> <p>(参加人数) 249人</p> <p>(成果)</p> <p>【祇園祭】今年度は御環幸が平日であったためお神輿の担ぎ手不足が懸念されたが、早期に参加者募集を実施したことから、前年度並みの参加者が確保できた。また、サラシ巻教室や直会を行い、参加者同士の連帯感や絆を深めることができた。</p> <p>祇園祭の御神幸・御環幸ともに平日となるため、早い時期から町内会連合会の役員が単位町内会総会等に出向き、お神輿の担ぎ手だけでなく、裸坊練り歩き随行者としての参加を呼び掛ける。</p> <p>【山口七夕ちょうちんまつり】今年度初めて、一の坂川西京橋から千歳橋までの両岸において、ミニちょうちんツリー設置(飾り付け・点灯)およびほたる広場において白石カフェを開設した。</p> <p>ミニちょうちんツリー設置においては、子ども会育成会をはじめ多数の協力を得ることができ、白石カフェ開設においては、白石地区町内会連合会との協力により、白石で自慢できるものNo.1(住民アンケート調査結果)の一つである「ちょうちんまつり」において地域住民のコミュニケーションの場を設けることができた。多数の参加者により、地区住民同士の連帯感や絆を深める機会となり、伝統ある祭りを盛り上げていくことに貢献できた。また、参加した子どもにも良い経験となり、子ども達が伝統祭りを誇りに思う心を育てることに繋がった。</p> <p>ミニちょうちんツリー設置については、今回初めて行った経験を踏まえ、人的態勢を整える。</p> <p>来年度は、新たに「山口ほたるまつり」に参画し、赤れんが芝生広場においてお茶席や休憩所を設営するなど地域住民が集い語れる場を増やすことに注力して行く。</p> <p>(評価) 初めて、一の坂川両岸ミニちょうちんツリー設置・白石カフェ設営を行ったが、多数の参加者により、地区住民同士の連帯感や絆を深めることが出来たとともに、伝統ある祭りを盛り上げていくことに貢献できた。また、参加した子どもにも良い経験となり、子ども達が伝統祭りを誇りに思う心を育てることに繋がった。</p> <p>(今後に向けて) 祇園祭については来年度は祇園祭の御神幸・御環幸ともに平日となるため、早い時期から町内会連合会の役員が単位町内会総会等に出向き、御神輿の担ぎ手だけでなく、裸坊練り歩き随行者としての参加を呼びかけるなど参加者が増えるよう更なる努力をする。</p> <p>ちょうちんミニツリー設置については、土曜、日曜日の開催となることから、参加者の負荷軽減を図るべく、適切な人的態勢を整える。</p> <p>来年度は新たに「山口ほたるまつり」の運営に参画し、赤れんが芝生広場においてお茶席や休憩所を設営するなど、地域住民が集い語れる場を増やすことに注力して行く。</p>

事業名	ノルディックウォーキング講習会開催事業
事業費	22,684円
事業概要	<p>(実施内容) 講習会の開催。ノルディックウォーキングの歩き方、ストレッチのしかたを習得し、昨年度作成された「ウォーキングマップしらいし」を活用したウォーキングを楽しむ。</p> <p>(実施時期) 平成27年5月27日</p> <p>(参加人数) 24人</p> <p>(成果) 講師にポールを活用したストレッチの紹介や、ノルディックウォーキングの効果などについて説明してもらいレベルの高いノルディックウォーキングの普及を図ることが出来た。昨年3月に作成した「ウォーキングマップしらいし」を活用したコースで実施したことにより、地域の史跡名所を改めて紹介できた。同時にウォーキングマップの活用の普及・提案を図ることができた。</p> <p>(評価) コースをやや上級者向けの8kmに設定したためか参加者は目標の40名に届かず24名であった。</p> <p>(今後に向けて) 高齢者が気軽に参加できるコースを設定するなど、年齢層、初心者、上級者向けに対応したコースプログラムを検討する。休日開催、複数開催、また、サークル組織の設立も検討する。</p>

事業名	白石チャレンジ健康づくり事業
事業費	49,593円
事業概要	<p>(実施内容) 参加者に対して活動量計を6カ月間貸出、運動に関するプログラムを月一回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を自覚してもらう事業を展開する。この事業を契機に習慣的な運動をツールとした健康づくりに取り組む人が増加することを目指す。</p> <p>(実施時期) 平成27年9月・10月(2回)・11月・12月・平成28年1月・2月・3月</p> <p>(参加人数) 49人</p> <p>(成果) 募集参加者50人に対して49人の応募があり、8回のプログラムに対して参加率が79.6%と高い参加率であった。</p> <p>また、参加者の内30人が活動量計を購入して、引き続き運動を継続するなど意識の高揚が図れた。</p> <p>(評価) 魅力あるプログラムが組めたことや「みんなでスッキリボディになろう」という事業の目標がはっきりしていたため、高い参加率につながった。</p> <p>運営スタッフも、若手を中心に事業に積極的に関わってもらい人材の掘り起こしが図れた。</p> <p>(今後に向けて) 若手のスタッフで運営したため、仕事の都合でスタッフ不足になるプログラムもあった。今後は、若手の活躍の場として、1期の卒業生を巻き込みながら、関連する部会と連携して安定したスタッフ人数を確保させ事業展開していく必要がある。</p>

(3) 地域福祉

事業名	減塩推進事業
事業費	57,720円
事業概要	<p>(実施内容) 減塩料理教室を2回開催し(内、男性料理教室1回)、減塩食レシピを広報誌へ6回掲載した。白石フェスティバルにおいて活動の様子をパネル展示した。</p> <p>(実施時期) 平成27年6月、7月、8月、10月、11月、12月、平成28年3月</p> <p>(参加人数) 40人</p> <p>(成果) 高血圧症等予防する「塩分控えめ食生活の改善」意識の高揚が図れた。</p> <p>(評価) 料理教室、広報誌へのレシピ掲載により、適正な塩分量の料理を提案し、地区住民の健康に役立つことができた。男性料理教室では、参加者から開催回数を増やしてほしいとの要望があった。</p> <p>(今後に向けて) 広報誌に健康食レシピを掲載紹介し、高血圧症等予防に役立つ料理を提案したい。子育て世代や男性を対象とした料理教室を開催したい。男性料理教室は、参加者からの要望をふまえて開催回数を1回から2回に増やし、また、募集方法については調理するメニューをあらかじめ公表するなどして、より多くの方に参加者していただけるよう工夫する。</p> <p>ヘルスマイト養成のため研修会を行う。</p>

事業名	ゴミ出しサポート運営事業
事業費	11,200円
事業概要	<p>(実施内容) ゴミ出しに困っている白石地区の住民を対象に ゴミ出しサポートを実施した。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 8人(登録サポーター)、利用回数56回</p> <p>(成果) ゴミだしに関する困りごとの解消を目指した。</p> <p>(評価) 日頃の地域見守り活動の中で、ゴミ出しの支援をしていること、また、ニーズはあるが有料となると躊躇される方がいることなどのため、新規の希望者が増加しなかった。</p> <p>(今後に向けて) 平成27年度をもって終了事業とする。</p>

事業名	健康講座開講
事業費	75,490円
事業概要	<p>(実施内容) 高齢者が暮らしのなかの食と運動の大切さを理解し、自分から運動に取り組むようになることを意図し、講座を5回開催した①ストレッチング・肩こり対策 ②家で一人で出来る運動 ③子どもとの交流レクゲーム ④食と運動について ⑤ストレッチ(筋肉のトレーニング)</p> <p>(実施時期) 平成27年6月、10月、11月、平成28年2月、3月</p> <p>(参加人数) 116名</p> <p>(成果) 講座内容は科学的な講義による実技であったので参加者から好評を得ることができた。</p> <p>(評価) 内容については好評であったが、参加人数については、主として広報誌による動員策をとったがあまり効果がなかった。</p> <p>(今後に向けて) 参加者の募集は、広報誌のみではなく口コミによる勧誘をしていくこととする。</p> <p>来年度は、社会体育部会が実施している「白石チャレンジ健康づくり」と連携して、毎月1回協働開催する。</p>

事業名	白石地区グランドゴルフ大会開催事業
事業費	15,818円
事業概要	<p>(実施内容) グランドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 平成27年7月26日(日)</p> <p>(参加人数) 28人</p> <p>(成果) 開催時期の変更や、個別の呼びかけによる周知など参加人数の増加につながる工夫はしたが今年度目標としている40名の参加は得られなかった。</p> <p>(評価) 地域住民が運動に親しむきっかけづくりとなった。</p> <p>(今後に向けて) 開催時期、複数回開催、サークル組織の設立、三世代交流戦の開催を検討する。気軽に定期的にゲームが楽しめる場所の発掘、提案により地区の競技者の定着を図っていく必要があると考えられる。</p>

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) —</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実していきたい。</p>

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) —</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 地域内の要望に適宜、対応する。</p>

事業名	安全パトロール事業
事業費	26,194円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 40人</p> <p>(成果) 学校とボランティアの方との連携は郵送等によるお知らせでできていた。 児童の安全確保ができた。</p> <p>(評価) ボランティアとの連携ができ、事件事故の被害はなかった。</p> <p>(今後に向けて) ボランティア人数を増加させたい。2月にボランティア募集の案内を町内に出したが、申込み人数はあまりなかったため、募集回数を増やす、活動内容の明確な周知、誰でも気軽に参加できるようなシニア向けに変える等改善する。</p>

事業名	自主防災モデル事業
事業費	192,014円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災勉強会等開催。 荒高町内会・西門前新橋町内会が合同で発災実働訓練を実施。 山口県自主防災アドバイザー養成研修を受講、資格試験受験、防災士資格取得。</p> <p>(実施時期) 平成27年9月～平成28年1月</p> <p>(参加人数) 発災実働訓練参加者 約170人</p> <p>(成果) 今年度新たに2名が防災士資格取得者となり、白石地区の防災士資格取得者は6名となった。 西門前、新橋、荒高町内会で合同の防災訓練を行ったことで、防災意識がさらに高まり災害への備えとなった。安否確認のための目印で黄色のタスキを全戸に配布したので特に住民同士の連帯感が深まった。</p> <p>(評価) 防災訓練を行う中で住民同士の連帯感が生まれた。</p> <p>(今後に向けて) 防災士有資格者の育成、自主防災組織設立支援、防災士による防災勉強会の開催、発災実働訓練等を引き続き実施したい。 防災組織を立ち上げた、西門前、新橋、荒高町内会をモデルケースとして、来年度は中讃井町内会と共に防災モデル事業に取り組むために事例紹介を行いたい。</p>

事業名	夏休み防災訓練キャンプ実施事業
事業費	58,143円
事業概要	<p>(実施内容) 消防団が講師となつての水消火による器消火訓練。着衣水泳体験(赤十字山口県支部講師による指導)。体育館での宿泊体験(寝床づくり、ラジオ体操、負傷者救出訓練など)。給水車による給水(上下水道局)</p> <p>(実施時期) 平成27年8月</p> <p>(参加人数) 60名</p> <p>(成果) 2年目ということもあり、全般的に問題なくできた。(昨年度は、保護者会で実施) 気分が悪くなった女子児童にたいしても、女性教員がいたためすぐ対応できた。</p> <p>(評価)</p> <p>(今後に向けて) 児童の防災意識向上のため、小学生高学年を対象に学校において一泊のキャンプを行いたい。暑さや人数を考慮し、クーラーボックスを増やす等、毎年の行事になるのであれば、必要なものは備えておくとともに、実際の災害発生にもつかえるようにしておきたい。</p>

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物等整備事業)
事業費	833,760円
事業概要	<p>(実施内容) 法定外公共物等の整備。</p> <p>(実施時期) 平成27年9～11月、平成28年2月～3月</p> <p>(参加人数) 3町内会</p> <p>(成果) 道路陥没復旧工事2件(龍王町町内会・中清水町内会)、道路補修・拡張工事(下清水町内会)を行った。</p> <p>(評価) 同上</p> <p>(今後に向けて) 地域内の要望を把握し、適宜対応する。</p>

事業名	環境美化&エコ推進事業
事業費	32,112円
事業概要	<p>(実施内容) 小・中学校PTA、町内会連合会と連携し地域清掃活動を実施。 幟旗を補充作成し、各活動の際に掲げ、環境美化意識の啓発と協力を呼び掛ける。</p> <p>(実施時期) 平成27年7月～9月</p> <p>(参加人数) 40人</p> <p>(成果) 活動を通じて、地域の環境美化とエコ推進活動の意識の向上が図れた。</p> <p>(評価) 悪天候のため、一週間順延したが、作業は支障なくできた。 作業の時間がかかりすぎた(3時間)。 道具(鎌)不足だった。</p> <p>(今後に向けて)道具を充実させた上で、作業手順などを時間が短縮できるよう改善する。 作業参加者の増加を図るため、事前周知を早く幅広く行う等改善する。</p>

事業名	白石地区一斉清掃
事業費	70,200円
事業概要	<p>(実施内容) 地区内一斉に清掃を行い、。世帯数に応じてゴミ袋を配布した。</p> <p>(実施時期) 平成27年6月7日、11月23日</p> <p>(参加人数) 16町内会</p> <p>(成果) 町内会への説明が不十分であったため、事業計画に盛り込むに至らなかった町内があった。</p> <p>(評価) 趣旨に賛同して参加する町内が増えつつある。(年1回から年2回実施町内会:4町内会)また、世帯数の多い町内会の参加率は高い。</p> <p>(今後に向けて) 町内会連合会独事業ではなくして、老人クラブ、子ども会等とも連携して事業展開したい。事業の趣旨の周知に努める。</p>

事業名	社会奉仕の日・清掃作業
事業費	11,678円
事業概要	<p>(実施内容) 白石老人クラブが山口高校通りを中心に清掃活動を実施した。</p> <p>(実施時期) 平成27年9月20日</p> <p>(参加人数) 50人</p> <p>(成果) 高齢者のコミュニケーションの場となった。 体調の都合により指定場所での作業が困難な場合には、自宅周辺での作業をすることで対応した。</p> <p>(評価) 目標参加人数は達成できたが、地区内の老人クラブは1つしかなく、また、加入者の60%が80歳以上であり新規加入者も少ないため、参加者が限られる。</p> <p>(今後に向けて) 平成27年度をもって廃止事業とする(白石老人クラブ解散のため)</p>

(6) 地域個性創出

事業名	お宝写真展開催事業
事業費	59,218円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小PTAを中心に児童、保護者、地域住民を対象に写真展参加者を公募し、白石フェスティバル・大いちょうバザール・市制10周年記念行事にて写真展を開催。</p> <p>(実施時期) 平成27年6月～11月</p> <p>(参加人数) 29人</p> <p>(成果) 今年度は、山口市制10周年記念事業に参加し活躍の場が増え白石のPRが出来たと思う。</p> <p>額縁を使うことによって、昨年よりも作品の見栄えも良かった。</p> <p>(評価) 山口市制10周年記念行事に出展したことで、白石のPRが出来た。</p> <p>アンケートは、経費と人員を顧慮し実施しなかった。</p> <p>(今後に向けて) ほとんどの出品者が白石小学校の関係者なので、参加者を地域住民まで拡充し作品数を増やしたい。コンテストの優秀者の表彰を検討する。</p>

事業名	明治維新150年記念事業
事業費	336,221円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会・バスツアー開催、広報誌およびHPにコラム掲載。</p> <p>(実施時期) 平成27年4月～平成28年3月</p> <p>(参加人数) 60人(平均参加者数)</p> <p>(成果) 講演会・バスツアー・広報誌へのコラム掲載により幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物を詳しく知ることができた。</p> <p>(評価) 明治維新に関心のある人の掘り起しができ、参加住民同士の連帯感や絆を醸成する一助となった。講演会・バスツアー共に好評であった。</p> <p>(今後に向けて) 講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し、バスツアーも来年度も実施したい。</p> <p>講演会参加者については、底辺を広げて参加人数が増加するよう新規計画を立てたい。2～3年後を見据えた新規事業計画を考えたい。</p>

27年度収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	金額
地域づくり交付金	9,561,000
特別加算地域づくり交付金	300,000
利息	623
合計	9,861,623

支出の部

(単位：円)

項目	金額	摘要	
協議会運営	4,265,114	事務局長給与、事務局員給与、事務費	
事業費	地域振興分野	3,766,729	組織づくり、広報活動、第2次地域づくり計画策定 「SLやまぐち号」応援イベント、白石地区町内親睦大運動会 白石フェスティバル運営、町内会親睦活動支援 西京老人大学開催、ふるさとまつり参加促進 ノルディックウォーキング講習会開催、白石チャレンジ健康づくり
	地域福祉分野	160,228	減塩推進、ゴミ出しサポート運営、健康講座開講 白石地区グラウンドゴルフ大会開催
	安心・安全分野	276,351	危険防止看板設置等、反射鏡設置等、安全パトロール 自主防災組織モデル、夏休み防災訓練キャンプ実施
	環境づくり分野	947,750	法定外公共物等整備、環境美化&エコ推進、白石地区一斉清掃 社会奉仕の日・清掃
	地域個性創出分野	395,439	お宝写真展、明治維新150年記念
	5,546,497		
返納金	50,012		
合計	9,861,623		